

1. 件 名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターの事業者防災訓練報告について

2. 日 時：令和3年4月15日 15:31～18:00

3. 場 所：原子力規制庁3階 室内会議卓

4. 出席者

児玉企画調整官、宮地防災専門官

(以下、テレビ会議システムによる出席)

原子力規制庁 緊急事案対策室

平野室長補佐

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

人形峠環境技術センター安全管理課 課長 他5名

5. 要 旨

日本原子力研究開発機構から、令和2年9月29日に実施した同機構人形峠環境技術センターの原子力事業者防災訓練について、資料1に基づき防災訓練実施結果報告の概要説明があった。

具体的には、防災訓練の内容、防災訓練の結果の概要、今後の原子力災害対策に向けた改善点についての説明であった。

原子力規制庁より、防災訓練の目的、防災訓練の内容についての評価がなされているか、今後の原子力災害対策に向けた改善点について課題と原因及びその対策が明らかになっているか確認を行った。この中で、訓練計画書に記載された訓練と実施された訓練に違いがあることについて確認したところ、訓練計画書が誤記との回答であった。訓練計画書は法定届出文書ではないが、日本原子力研究開発機構名で出されている正式文書であり、今回訓練の基礎となる文書であるため、同様の間違いを起こさないよう伝えた。

また、今回の概要説明で課題があるにも拘わらず習熟ができたとする表記については誤解を招く懸念があるため、表記を見直す様伝えた。

更には、訓練実施結果報告の概要説明については5週間後を目処に実施するよう事前に依頼しているが、今回訓練実施日から実施結果報告の概要説明まで半年以上経過しており、一方的な反古に関しては容認できないため、改善を行うよう伝えた。

日本原子力研究開発機構から、上記指摘を踏まえ改善を行うと併に、今回の説明内容について、防災訓練実施結果報告書を取りまとめ、後日提出するとの回答があった。

6. その他

配布資料：

資料1 防災訓練の結果の概要（総合防災訓練）（案）（日本原子力研究
開発機構）